

2020年1月15日

厚生労働省医政局長 吉田 学 殿

四病院団体協議会
一般社団法人日本病院会
会長 相澤 孝夫
公益社団法人全日本病院協会
会長 猪口 雄二
一般社団法人日本医療法人協会
会長 加納 繁照
公益社団法人日本精神科病院協会
会長 山崎 學



要望書

～医師のタスク・シフティング/シェアリングについて～

現在、「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」において様々な議論がされている。

四病院団体協議会は、医師の働き方改革対象となる診療従事勤務医を多数抱える病院から構成される団体として、医師の働き方改革を推進するにはタスク・シフティング/シェアリングは必要不可欠と考え、提案を行ってきた。

今後、医師の働き方改革を推進するため、下記の業務についてタスク・シフティング/シェアリングが可能となることを要望する。

- 薬剤師へのタスク・シフト
医師等との協働により作成した包括的指示に基づいた投薬の実施、持参薬の継続提案、多剤併用薬に対する処方提案等、現行法の下で可能なタスク・シフトを確認し、医療機関内において薬剤師が主体的に業務を行えるようにすること。
- 看護師へのタスク・シフト
特定行為研修修了者はもとより、病棟、介護施設等の一般看護師においても臨床現場における医師の包括的指示のもとに、看護師が患者の状態に応じて柔軟に対応ができるようにすること。

- 診療放射線技師へのタスク・シフト
 放射線部門の検査における静脈ルート確保、医療機関外でのマンモグラフィの単独撮影、等。
- 臨床検査技師へのタスク・シフト
 採血のための静脈ルート確保およびロック、血液培養を含む検体採取、等。
- 臨床工学技士へのタスク・シフト
 全身麻酔装置に伴う麻酔作動薬や循環作動薬等の、輸液ポンプを用いた静脈ライン確保と静脈ラインからの薬剤投与、硬性鏡の保持および術野確保のための操作
 内視鏡（軟性鏡）検査・治療時、心臓・血管カテーテル検査・治療時の医療機器操作の補助
 血液浄化施行時、動脈表在化を含むバスキュラーアクセスへの穿刺、カニューレ留置および不要カニューレの抜去、等。
- 医師事務作業補助者について
 患者への説明（検査手順説明、入院説明、同意書の取得等）、
 電子カルテの記載（診断書、入退院サマリー、各種パスの代行入力等）
 各種書類作成等事務業務（申請書等の草案作成、診療データ入力・解析、統計作成、当直表作成等）
 多くのタスク・シフティングが可能となる医師事務作業補助者を適切に配置できるよう診療報酬上の改定。
- 救急救命士について
 医師の指示に基づく、医療機関内での救急外来、病棟急変時、等における救急救命処置および診療補助。

医師の働き方改革を推進するためには、医療安全等を確保しつつも既存の役割分担にとらわれない業務移管を行う必要がある。今後、安全性を担保するための研修システム確立（シミュレーターによるトレーニング等も含む）、養成カリキュラム作成、資格者のアドバンス研修等、が必要となる。病院団体として、関係諸団体と連携し、協力していく。